

賠償責任保険 主な事故補償事例

(参考資料)

NO	近年発生した、主な事故事例
1	煤煙測定中に手袋をボイラー内に落としてしまいボイラーが破損
2	機材の固定に使用していた養生テープを剥がした際に、床の光沢部分も剥がれて修復が必要になった。
3	測定中に脱臭機熱交換器のパイプを破損させてしまい修理が必要になった。
4	ボイラーの排出成分測定中、測定溝からなんらかの物体を吸引した結果、ボイラーが動かなくなり修理が必要になった。
5	新築建物でのシックハウス測定中、はしごを倒し、新築の床に傷をつけたため修理が必要になった。
6	水質調査中、排水を採水する際排水瓶を落とし、排水口の中に瓶の破片を詰まらせた。
7	排気成分を測定中、排気口内に測定器を落としてしまい、排気口内のファンを破損させてしまった。
8	マンホールを開いて水質の測定中に、測定施設の職員が誤って転倒し受傷した。
9	発電機のばい煙測定中に、排気ダクトに採取間のホルダーを落下させ、発電機を停止させた。
10	屋上で待機サンプル回収中、物を落としてしまい、下にあった車のボンネットを損傷させた。
11	作業中に、吸収冷温水器燃料系を破損させ修理が必要になった。
12	ゴミ処分場の観測井戸にポンプを入れて測定する際、井戸のつなぎ目を破損させた。
13	測定機材を落下させ、アルミ製の屋根に損害が発生し修復が必要になった。
14	ボイラー付近での作業中、誤って別のコックを空けてしまった為、ボイラー内部に水蒸気が溜まりボイラーを破損させた。
15	グルードポンプの先端を落下させた。
16	ストッパーをかけずにドアを開けたまま測定を行っていたところ、風にあおられドアが破損した。
17	排ガス測定時に蓋を破損させた。
18	PCB 分析を行い PCB が含まれているという結果を提出したが、再検査したところ PCB は含まれておらず、試験結果誤りが発覚。
19	食品分析の検査行程を誤り間違った数値を算出し、再検査が必要になり他社で検査したところ行程の誤りが判明。本来必要ではなかった再検査費用を請求された。

*1～17 は環境測定業務賠償責任による事故例。18.19 は試験所賠償責任による事故例。

*上記は、各事案について被保険者が法律上の損害賠償責任を負担した際に、損害賠償金等に対して保険金が支払われた事例です。

保険金お支払いの可否は、事故の内容・状況等に応じ、法律・約款にもとづいた個別の判断となります。